

CPP-ACPの影響. 第31回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 東京, 2013年1月24-25日, 同学会総会・学術大会プログラム・抄録集 31:184頁, 2013.

- 16) 小玉直樹, 永田昌毅, 福田純一, 池田順行, 西山秀昌, 林 孝文, 高木律男: デンタルエックス線画像による根尖部透過像から診断に至った多発性骨髄腫の一例. 第31回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 東京, 2013年1月24-25日, 同学会総会・学術大会プログラム・抄録集 31:233頁, 2013.

【特別講演】

- 1) 勝良剛詞: 造血幹細胞移植治療における Oral Care の意義と歯科医療の役割. 第22回 新潟造血幹細胞移植研究会, 新潟市, 2012年4月3日.
- 2) 林 孝文: 歯科における超音波組織弾性イメージングの臨床応用. The 11th Conference on Biomechanics in Niigata [第11回日本実験力学学会バイオメカニクス分科会研究会], 新潟市, 2012年4月28日.
- 3) 林 孝文: 頭頸部の超音波診断法 頸部リンパ節・舌粘膜の描出法および読影法の習得, NPO法人日本歯科放射線学会教育研修会第19回実技研修会, 石狩郡当別町, 2012年11月18日.
- 4) 勝良剛詞: 「がん治療と歯科医療」- 地域歯科医療ががん患者の命と生活を支える時代 -. 平成24年度 上越歯科医師会 口腔ケア研修会, 上越市, 2012年12月13日.

【研究会発表】

- 1) 斎藤美紀子, 西山秀昌, 勝良剛詞, 林 孝文. cN0舌癌のCT lymphography - リンパ経路と至適撮影タイミングについて -. 新潟画像医学研究会, 新潟市, 2012年6月16日.

【受賞】

- 1) 高嶋真樹子, 河村篤志, 白井友恵, 奥村暢旦, 荒井良明, 林 孝文, 高木律男: 超音波診断装置を用いた咬筋の硬さの定量的評価. 第25回日本顎関節学会学術大会ポスター発表優秀賞. 第25回日本顎関節学会総会・学術大会, 札幌市, 2012年7月14日.

【その他】

- 1) 勝良剛詞: がんチーム医療における Oral Management と歯科衛生士の役割. 平成24年新潟大学医歯学総合病院診療支援部歯科衛生士部門勉強会, 新潟市, 2012年8月7日.

摂食・嚥下リハビリテーション学分野

【著書】

- 1) 堀 一浩: PAPの診断・設計・製作, Q&Aでわかる摂食機能療法・舌摂食補助床ガイド (前田芳信監修), クインテッセンス出版社, 東京, 印刷中, 2013
- 2) 伊藤加代子, 野村修一: 口腔乾燥症, プロストドンティクス, 永末書店, 京都, 印刷中, 2013.
- 3) 井上 誠: 口腔環境と摂食・嚥下障害. 今日の治療指針, 1297-1298頁, 医学書院, 東京, 2012.
- 4) 井上 誠: 口腔ケアを解剖する - 生理学の立場から -. 黒岩恭子の口腔ケア&口腔リハビリはなぜ食べられる口になるのか, 22-31頁, デンタルダイヤモンド社, 東京, 2012.
- 5) 井上 誠: 座談会. 黒岩恭子の口腔ケア&口腔リハビリはなぜ食べられる口になるのか, 25-35頁, デンタルダイヤモンド社, 東京, 2012.
- 6) 井上 誠: 要介護者への口腔ケアのポイント. 新口腔の生理から?をとく (森本俊文監修), 54頁, デンタルダイヤモンド社, 東京, 2012.
- 7) 井上 誠: どうして「おえっ」となりやすい人でも食物は飲み込めるのだろうか?. 新口腔の生理から?をとく (森本俊文監修), 76-80頁, デンタルダイヤモンド社, 東京, 2012.

【論文】

- 1) Taniguchi H, Matsuo K, Okazaki H, Yoda M, Inokuchi H, González-Fernández M, Inoue M, Palmer JB: Fluoroscopic evaluation of tongue and jaw movements during mastication in healthy humans, Dysphagia, in press, 2013.
- 2) Ito K, Funayama S, Katsura K, Saito M, Kaneko N, Nohno K, Yamada A, Sumida Y, Inoue M: Moistened techniques considered for patients' comfort and operators' ease in dental treatment, Int J Oral-Med Sci, 11 (2) : 85 - 89, 2013.
- 3) Katsura K, Ito K, Nohno K, Funayama S, Saito M, Hayashi T: The relationship between the salivation ability and the blood flow velocity in the submandibular gland using pulsed Doppler ultrasonography. Oral Radiol., 29 : 13 - 18, 2013.
- 4) Ding P, Campbell-Malone R, Holman SD, Lukasik SL, Fukuhara T, Gierbolini-Norat EM, Thexton AJ, German RZ: Unilateral superior laryngeal nerve lesion in an animal model of dysphagia and its effect on sucking and swallowing. Dysphagia, in

- press, 2013.
- 5) Yamada A, Kajii Y, Sakai S, Tsujimura T, Nakamura Y, S Ariyasingheb, Magara J, Inoue M: Effects of chewing and swallowing behavior on jaw opening reflex responses in freely feeding rabbits. *Neurosci Lett.*, 535, 73-77, 2013.
 - 6) Inoue M: Effects of pharyngeal electrical stimulation on the swallowing reflex and its possible clinical application. *Rinsho Shinkeigaku*, 52 (11) :1192-4, 2012.
 - 7) Yano J, Kumakura I, Hori K, Tamine K, Ono T: Differences in biomechanical features of tongue pressure production between articulation and swallow. *J Oral Rehabil.*, 39 (2) :118-125, 2012.
 - 8) Barbezat C, Srinivasan M, Schimmel M, Hori K, Tamine K, Ono T, Muller F: Impact of lingual plates on the interocclusal free way space: a pilot study. *J Oral Rehabil.*, 39 (10) :761-766, 2012.
 - 9) Ishihara S, Nakano S, Nakauma M, Funami T, Hori K, Ono T, Kohyama K, Nishinari K: Compression Test of Food Gels on Artificial Tongue and Its Comparison with Human Test, *J Texture Stud.*, in press, 2012.
 - 10) Kakudate N, Muramatsu T, Endoh M, Satomura K, Koseki T, Sato Y, Ito K, Ogasawara T, Nakamura S, Kishimoto E, Kashiwazaki H, Yamashita Y, Uchiyama K, Nishihara T, Kiyohara Y, Kakinoki Y: Factors associated with dry mouth in dependent Japanese elderly, *Gerodontology*, in press, 2012.
 - 11) Shiozawa M, Taniguchi H, Hayashi H, Hori K, Tsujimura T, Nakamura Y, Ito K, Inoue M: Differences in chewing behavior during mastication of foods with different textures, *J Texture Stud.*, in press, 2012.
 - 12) Tsujimura T, Tsuji K, Ariyasinghe S, Fukuhara T, Yamada A, Hayashi H, Nakamura Y, Iwata K, Inoue M: Differential involvement of two cortical masticatory areas in modulation of the swallowing reflex in rats, *Neurosci Lett.*, 528 (2), 159-64, 2012.
 - 13) Tsujimura T, Yamada A, Nakamura Y, Fukuhara T, Yamamura K, Inoue M: The digastric muscle is less involved in pharyngeal swallowing in rabbits, *Dysphagia*, 27 (2), 271-276, 2012.
 - 14) 堀 一浩, 真柄 仁, 谷口裕重, 井上 誠: 補綴装置を用いた摂食・嚥下リハビリテーションが奏功した重症筋無力症症例. 顎顔面補綴, 印刷中, 2013.
 - 15) 小野高裕, 堀 一浩, 中島純子: 舌接触補助床 (PAP) を用いた口腔機能リハビリテーション. 日本歯科医学学会誌, 印刷中, 2013.
 - 16) 伊藤加代子, 船山さおり, 濃野 要, 山田亜紀, 金子 昇, 勝良剛詞, 佐々木綾子, 井上 誠: 「ドライマウス手帳」の作成とその改善点に関する調査. 口腔衛生学会雑誌, 印刷中, 2013.
 - 17) 伊藤加代子, 高松 潔, 濃野 要, 山田亜紀, 船山さおり, 小川真里子, 井上 誠: 女性におけるドライシンドロームの有訴率に関する Web 調査. 日本女性医学学会雑誌, 印刷中, 2013.
 - 18) 櫻井 薫, 石田 瞭, 市川哲雄, 小野高裕, 菊谷 武, 杉山哲也, 須田牧夫, 田村文誉, 津賀一弘, 永尾 寛, 中島純子, 土屋純一, 堀 一浩: 摂食・嚥下リハビリテーションにおける診断支援としての舌機能検査法の確立. 日本歯科医学学会雑誌, 32: 68-72, 2013.
 - 19) 井上 誠: 嚥下障害に対する介護食品への期待と課題. 日本生物工学会誌, 90 (9) : 593, 2012.
 - 20) 林 豊彦, 川田充洋, 中嶋新一, 井上 誠, 前田義信: 自律咀嚼運動シミュレータ JSN/3X の開発. バイオメカニズム, 21: 179-191, 2012.
 - 21) 杉本智子, 葭原明弘, 伊藤加代子, 宮崎秀夫: オーラルディアドコキネシスを用いた構音機能の評価と発声発語器障害との関連. 口腔衛生学会雑誌, 62 (5) : 445-453, 2012.
 - 22) 佐藤将大, 覚嶋慶子, 林 豊彦, 前田義信, 渡辺哲也, 道見 登, 谷口裕重, 井上 誠: 喉頭運動の視覚バイオフィードバックを用いた喉頭挙上訓練. 日摂食嚥下リハビリ会, 16 (3) : 235-242, 2012.
 - 23) 伊藤加代子: 口腔乾燥症に対するコメディカルの役割. 更年期と加齢のヘルスケア学会, 11 (1) : 73-76, 2012.
 - 24) 伊藤加代子, 隅田好美, 井上 誠: 歯科衛生士教育課程における口腔乾燥症の講義および実習に関するアンケート調査. 日本歯科医学教育学会雑誌, 28(3) : 148-154, 2012.
 - 25) 伊藤加代子, 松木貴彦, 井上 誠: ホルモン補充療法の口腔領域における効果に関する文献レビュー. 日本女性医学学会雑誌 20 (1) : 35-48, 2012.
 - 26) 伊藤加代子, 船山さおり, 山田亜紀, 井上 誠: 舌清掃が塩味閾値に与える影響. 新潟歯学会誌 42(1) : 37-40, 2012.
 - 27) 井上 誠: 嚥下機能にまつわる昨今の生理学的知見. 新潟歯学会誌, 42 (2) : 1-12, 2012.
 - 28) 近藤匡晴, 伊藤加代子, 辻村恭憲, 堀 一浩, 井上 誠: 要介護高齢者における療養管理指導に関する検討. 新潟歯学会誌, 42 (2) : 13-20, 2012.

【商業誌】

- 1) 伊藤加代子：更年期障害と口腔疾患. ENTONI, 151：6-12, 2013.
- 2) 伊藤加代子：ドライシンドロームについて. 日本女性医学会ニューズレター, 18 (3)：3, 2013.
- 3) 井上 誠：口内細菌の温床「舌苔」を取り除く「舌磨き」を行え. 夢 21, 4月号：31-32, 2013.
- 4) 谷口裕重, 堀 一浩, 辻村恭憲, 下畑享良, 小山 諭, 井上 誠：神経難病患者における嚥下時食塊動態の特徴. 臨床栄養, 印刷中, 2012.
- 5) 井上 誠：嚥下咽頭期のメカニズムと食塊動態. FFI ジャーナル, 217 (3)：248-253, 2012.
- 6) 堀 一浩, 小野高裕：咀嚼・嚥下時の舌圧のはたらき. FFI ジャーナル, 217 (3)：234-241, 2012.
- 7) 伊藤加代子：初の「ドライマウス手帳」で口腔乾燥症の診療を向上. 日本医事新報, 4621：95, 2012.

【研究費獲得】

- 1) 井上 誠, 堀 一浩, 谷口裕重, 辻村恭憲, 中村由紀, 真柄 仁：摂食・嚥下機能に関わる中枢と末梢の制御機構. 平成24年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (B), 課題番号 24390431A, 2012.
- 2) 井上 誠, 辻村恭憲：嚥下中枢の三叉神経支配を検証する. 平成23年度文部科学省科学研究費補助金研究, 挑戦的萌芽研究, 課題番号 23659982, 2012.
- 3) 井上 誠, 大内章嗣, ステガロユロクサーナ, 伊藤加代子：摂食・嚥下リハビリテーションが唾液量と口腔内細菌叢に与える影響. 8020 研究事業, 2012.
- 4) 井上 誠, 堀 一浩, 谷口裕重：咽頭刺激は食べる力をアップさせるか？ 浦上食品・食文化振興財団研究助成, 2012.
- 5) 井上 誠：使いやすい紙容器の要素技術の検証と開発. 日本紙パック株式会社, 共同研究, 2012.
- 6) 井上 誠：摂食・嚥下障害者用介護用品・食品等の開発. いがた摂食・嚥下障害サポート研究会共同研究, 2012.
- 7) 井上 誠, 中村由紀, 谷口裕重：クロトグラフの波形を利用した嚥下機能の新たな評価ツールの開発. 平成24年度 JST 研究成果最適展開支援プログラム探索タイプ, 2012.
- 8) 井上 誠：炭酸飲料の嚥下促進効果の検証. アサヒグループホールディングス株式会社他, 共同研究, 2013.
- 9) 山村健介, 井上 誠, 黒瀬雅之, 北川純一：非侵襲型の嚥下誘発支援装置開発に向けた基礎的研究. 平成24年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C), 課題番号 24592793, 2012.
- 10) 木村慎二, 井上 誠, 野村 修一, 植田 耕一郎：ピ

エゾセンサーを用いた X 線非使用下嚥下検査の応用, 平成24年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C), 課題番号 24500574, 2012.

- 11) 櫻井直樹, 野村修一, 井上 誠, 堀 潤一：在宅高齢者に対するピエゾセンサーを用いた遠隔嚥下機能評価訓練システムの開発. 平成24年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C), 課題番号 22592145, 2012.
- 12) 堀 一浩, 井上 誠, 小野高裕：口腔・咽頭内残留の定量的評価と舌圧との関連. 平成24年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C), 課題番号 24592908, 2012.
- 13) 谷口裕重：嚥下惹起をもたらし物性条件. 平成24年度文部科学省科学研究費補助金研究, 若手研究 (B), 課題番号 23792505, 2012.
- 14) 伊藤加代子：女性ホルモン減少は、口腔乾燥症の一因となりうるか？ 平成24年度文部科学省科学研究費補助金研究, 若手研究 (B), 課題番号 22792109, 2012.
- 15) 柿木保明, 西原達次, 角館直樹, 柏崎晴彦, 小関健由, 佐藤裕二, 里村一人, 伊藤加代子, 小笠原正, 岸本悦央, 中村誠司, 内山公男, 山下喜久, 清原 裕, 村松 幸：平成22-24年度厚生労働科学研究費補助金（長寿科学総合研究事業）高齢者のドライマウスの実態調査及び標準的ケア指針の作成に関する研究, 2012.
- 16) 辻村恭憲：咀嚼時の嚥下抑制機構を解明する. 平成24年度文部科学省科学研究費補助金研究, 若手研究 (B), 課題番号 23792507, 2012.
- 17) 中村由紀：嚥下調節機能における摂食関連ペプチドの役割とその発達に関する研究. 平成24年度文部科学省科学研究費補助金研究, 若手研究 (B), 課題番号 23792424, 2012.
- 18) 中村由紀：咽頭への酸味刺激がもたらす嚥下反射誘発効果に関する研究. 平成24年度ネスレ栄養学会議研究助成, 2012
- 19) 中村由紀：咽頭領域への味覚刺激がもたらす呈味効果と嚥下反射誘発効果に関する研究, 新潟大学プロジェクト推進経費（奨励研究）, 2012
- 20) 真柄 仁：機械的負荷が関節円板細胞に及ぼす影響—中間径フィラメントに着目して. 平成24年度文部科学省科学研究費補助金研究, 研究活動スタート支援, 課題番号 248900070A, 2012.
- 21) 船山さおり：自発性異常味覚の評価法としての主観的および客観的指標の臨床応用に関する研究. 平成24年度文部科学省科学研究費補助金研究, 若手研究 (B), 課題番号 22792111, 2012.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Inoue M: Oral treatment and care of dysphagic patients at nursing homes in Japan. All Together Better Health VI, Kobe, Japan, 2012.10.7.
- 2) Inoue M: Oral Treatment and Care at Nursing Home in Japan. The international symposium in geriatric dentistry -Oral health and care and quality of life in the elderly, Bangkok, Thailand, 2012.5.17.
- 3) Inoue M: Dysphagia rehabilitation. 第2回首届吞咽障碍康复进展班, Beijing, China, 2012.5.5-6.
- 4) 堀 一浩: 摂食・嚥下リハビリテーションにおける補綴的アプローチ. 平成24年度社団法人日本補綴歯科学会関越支部専門医研修会, 新潟, 2013年3月9日.
- 5) 井上 誠, 谷口裕重, 堀 一浩, 塚野英樹: 咽頭電気刺激がもたらす嚥下反射誘発効果と臨床応用への可能性. 第36回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, 京都, 2013年3月1日.
- 6) 井上 誠: 超高齢社会を見据えた咀嚼・嚥下の生理学. 第54回歯科基礎医学会学術大会・総会・日本学術会議主催シンポジウム, 郡山, 2012年9月16日.
- 7) 井上 誠: 診療ニーズを見据えた新潟大学歯学部取り組み-超高齢社会と歯学-. 文部科学省主催平成24年度医学・歯学教育指導者のためのワークショップ, 東京, 2012年7月25日.
- 8) 堀 一浩: ゲル試料摂取時の舌圧測定. 第35回日本バイオレオロジー学会年会, 新潟, 2012年6月2日.
- 9) 井上 誠: 咽頭電気刺激がもたらすヒト嚥下誘発促進効果の臨床応用への期待. 第53回日本神経学会学術大会, 東京, 2012年5月24日.
- 4) Inokuchi H, Gonzalez-Fernandez M, Yoda M, Taniguchi H, Okazaki H, Brodsky MB, Hiraoka T, Palmer JB: Electromyography of Swallowing with Fine Wire Intramuscular Electrodes: Effects of Food Consistency on Muscle Activity of Selected Hyoid Muscles. Dysphagia Research Society 21th Annual Meeting, Seattle, 2013.3.13-16.
- 5) Okazaki H, Taniguchi H, Iida T, Yoda M, Inokuchi H, Hamada Y, Matsuo K, Palmer JB: Motions of the Lower Jaw During Eating and Swallowing. An Anteroposterior Videofluoroscopic Study. Dysphagia Research Society 21th Annual Meeting, Seattle, 2013.3.13-16.
- 6) Yoda M, Inokuchi H, Hiraoka T, Taniguchi H, Okazaki H, Iida T, Brodsky MB, Palmer JB: Occurrence of Stage II Oral Transport in Young Healthy Adults. Association of Academic Physiatrists 2013 Annual Meeting, Las Vegas, 2013.3.6-10
- 7) Hori K, Taniguchi H, Tamine K, Hayashi H, Magara J, Inoue M, Ono T: Videofluorographic Analysis of Sequential Events on the Tongue Pressure Waves during Swallowing. the 60th anniversary of the founding of the Japanese Association for Dental Research, Niigata, Japan, 2012.12.14-15.
- 8) Ito K, Funayama S, Yamada A, Sasaki R, Inoue M: The prevalence and recognition of xerostomia by web-based survey. the 60th anniversary of the founding of the Japanese Association for Dental Research, Niigata, Japan, 2012.12.14-15.
- 9) Yoda M, Inokuchi H, Hiraoka T, Okazaki H, Iida T, Taniguchi H, Brodsky MB, Palmer JB: Cycle Duration in Eating is longer for Stage II Oropharyngeal Transport Cycles than for Chewing Cycles. American Academy of Physical Medicine and Rehabilitation 2012 Annual Assembly, Atlanta, 2012.11.15-18.
- 10) Fujiwara S, Ono T, Tamine K, Fujiu-Kurachi M, Hori K, Maeda Y, Sara B, Ina N, Vith U, Bohlender J: Tongue pressure production against hard palate during supraglottic swallow and super supraglottic swallow. European Society for Swallowing Disorders 2nd congress, 2012.10.27.
- 11) Inoue M, Nakamura Y, Hatakeyama A, Kitada Y: Effect of chemosensory inputs into the pharynx on

【学会発表】

- 1) Taniguchi H, Matsuo K, Okazaki H, Yoda M, Inokuchi H, Iida T, Gonzalez-Fernández M, Inoue M, Palmer JB: Tongue Surface Movement during Stage II Oral Food Transport. Dysphagia Research Society 21th Annual Meeting, Seattle, 2013.3.13-16.
- 2) Tsuji K, Tsujimura T, Inoue M: Swallowing desensitization following continuous superior laryngeal nerve stimulation in anesthetized rats. Dysphagia Research Society 21th Annual Meeting, Seattle, 2013.3.13-16.
- 3) Fujiwara S, Fujiu-Kurachi M, Ono T, Miyamoto J, Minagi Y, Tamine K, Kondo J, Hori K, Inoue M, Maeda Y: Tongue Pressure Production against Hard Palate During Tongue-hold Swallows in

- voluntary swallows in humans, Society for Neuroscience, New Orleans, 2012.10.12-17.
- 12) Yoda M, Inokuchi H, Hiraoka T, Okazaki H, Iida T, Taniguchi H, Brodsky MB, Palmer JB: Hyoid movement during Stage II Food Transport from Mouth to Pharynx. American Congress of Rehabilitation Medicine 2012 Annual Conference, Vancouver, 2012.10.9-13.
 - 13) Inokuchi H, González-Fernández M, Yoda M, Taniguchi H, Okazaki H, Hiraoka T, Matsuo K, Palmer JB: Electromyography of swallowing with fine wire intramuscular electrodes: Activation sequence of selected hyoid muscles. 17th and 18th Joint Annual Meeting of Japanese Society of Dysphagia Rehabilitation, Sapporo, Japan, 2012.7.31-8.1
 - 14) Inoue M: Effects of pharyngeal electrical stimulation on swallowing in healthy humans. 2nd International Conference on Food Oral Processing - Physics, Physiology, and Psychology of Eating, Beaune, France, 2012.7.1-5.
 - 15) Hori K, Hayashi H, Yokoyama S, taniguchi H, tamine K, Ishihara S, Funami T, Ono T, Inoue M: Tongue pressure during ingestion of food gels. 2nd International Conference on Food Oral Processing - Physics, Physiology, and Psychology of Eating, Beaune, France, 2012.7.1-5.
 - 16) Ono T, Hori K, Tamine K, Maeda Y, Aoyagi Y, Yano J, Iizumi T: Novel and Biomechanical Evaluation Techniques of Oro-pharyngeal Swallowing. 2nd International Conference on Food Oral Processing - Physics, Physiology, and Psychology of Eating, Beaune, France, 2012.7.1-5.
 - 17) Ishihara S, Nakao S, Nakaura M, Funami T, Hori K, Ono T, Kohyama K, Nishinari K: Instrumental simulation for compression of foods between the tongue and the hard palate and the comparison with human test. 2nd International Conference on Food Oral Processing - Physics, Physiology, and Psychology of Eating, Beaune, France, 2012.7.1-5.
 - 18) Nakamura Y, Hatakeyama A, Yahagi R, Inoue M, Kitada Y: Chemical stimulation of the pharynx to trigger the swallowing reflex and its inter-individual variation in humans. 16th International Symposium on Olfaction and Taste, Stockholm, 2012.6.23-27.
 - 19) 真柄 仁, 林 宏和, 神田知佳, 堀 一浩, 井上 誠: 舌接触補助床の装着が嚥下機能に及ぼす影響. 第36回日本嚥下医学会学術講演会, 京都, 2013年3月1-2日.
 - 20) 福島雅子, 坂井優美, 中山由紀子, 坂本富美子, 本間俊子, 中山秀章, 高田俊範, 成田一衛, 伊藤加代子: NPPV 装着患者の口内乾燥による苦痛を軽減する口腔ケア方法の検討. 第22回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会, 福井, 2012年11月23-24日, 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌, 22 (Suppl.): 176頁, 2012.
 - 21) 畠山 文, 中村由紀, 北田泰之, 矢作理花, 井上 誠: ヒト随意性嚥下における旨味刺激の効果. 新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2012年11月10日, 新潟歯学会誌, 42 (2): 68頁, 2012.
 - 22) 中村由紀, 畠山 文, 矢作理花, 北田泰之, 井上 誠: ヒト咽頭部への化学刺激による随意性・反射性嚥下への効果. 日本顎口腔機能学会第49回学術大会, 北九州, 2012年10月20-21日.
 - 23) 真柄 仁, 林 宏和, 神田知佳, 住谷美幸, 塚野英樹, 堀 一浩, 谷口裕重, 井上 誠: 舌骨位は嚥下機能に影響を与えるか. 日本顎口腔機能学会第49回学術大会, 北九州, 2012年10月20-21日.
 - 24) 椎野良隆, 真柄 仁, 大井 孝, 酒井翔梧, 辻 光順, 林 宏和, 堀 一浩, 鈴木絵里, 井上 誠: 新しい紙パック容器の使い勝手を検証する. 日本顎口腔機能学会第49回学術大会, 北九州, 2012年10月20-21日.
 - 25) 覚嶋慶子, 林 豊彦, 道見 登, 谷口裕重, 井上 誠: 嚥下リハビリテーション支援システムを用いた高齢者の喉頭挙上訓練. 日本顎口腔機能学会第49回学術大会, 北九州, 2012年10月20-21日.
 - 26) 皆木祥伴, 李 強, 小野高裕, 堀 一浩, 近藤重悟, 藤原茂弘, 田峰謙一, 林 宏和, 井上 誠, 前田芳信: 嚥下時舌圧発現と喉頭運動の協調性. 日本顎口腔機能学会第49回学術大会, 北九州, 2012年10月20-21日.
 - 27) 谷口裕重, 辻村恭憲, 堀 一浩, 小山 諭, 井上 誠: 神経難病患者における嚥下時食塊動態の特徴. 第9回日本在宅静脈経腸栄養研究会学術集会, 愛知, 2012年10月20日.
 - 28) 伊藤加代子, 高松 潔, 井上 誠: ドライシンドロームの有症率に関する検討-Web アンケートの解析から. 第27回日本女性医学学会学術集会, 山形, 2012年10月13-14日, 日本女性医学学会雑誌, 20 (Suppl.): 115, 2012.
 - 29) 高松 潔, 伊藤加代子, 小川真里子, 堀口 文: 日本人女性における腔症状の現状-Web アンケートの解析から. 第27回日本女性医学学会学術集会, 山形, 2012年10月13-14日, 日本女性医学学会雑誌, 20

- (Suppl.): 92, 2012.
- 30) 伊藤加代子, 船山さおり, 山田亜紀, 井上 誠: 口腔乾燥症の認知度に関する Web 調査, 第 22 回口腔内科学会, 東京, 2012 年 9 月 21-22 日.
 - 31) 山田亜紀, 伊藤加代子, 荒井良明, 奥村暢旦, 高嶋真樹子, 船山さおり, 井上 誠: 顎関節症患者における唾液分泌量とストレスの関連, 第 25 回日本口腔診断学会・第 22 回日本口腔内科学会合同学術大会, 東京, 2012 年 9 月 21 日-22 日.
 - 32) 岸本奈月, Roxana Stegaroiu, 上松弘幸, 柴田佐都子, 塚野英樹, 中村由紀, 伊藤加代子, 井上 誠, 大内章嗣: 経口摂取が口腔内水分量と唾液中および舌苔の細菌量・細菌叢に与える影響-嚥下障害を併発する SS 患者に嚥下直接訓練を実施した 1 症例-. 第 7 回日本歯科衛生学会, 2012 年 9 月 15-17 日, 盛岡, 日本歯科衛生学会雑誌, 7 (1) :206, 2012.
 - 33) 辻村恭憲, 辻 光順, 岩田幸一, 井上 誠: 上喉頭神経および皮質誘発嚥下に対する皮質咀嚼野刺激の変調効果, 第 54 回歯科基礎医学会学術大会, 郡山, 2012 年 9 月 14-16 日, Journal Of Oral Biosciences 54 (Suppl.) :112, 2012.
 - 34) 畠山 文, 中村由紀, 北田泰之, 矢作理花, 井上 誠: ヒト随意性嚥下における旨味刺激の効果, 第 54 回歯科基礎医学会学術大会, 郡山, 2012 年 9 月 14-16 日, Journal Of Oral Biosciences, 54 (Suppl.) :130, 2012.
 - 35) 辻 光順, 辻村恭憲, 井上 誠: ラット上喉頭神経誘発嚥下の応答特性, 第 54 回歯科基礎医学会学術大会, 郡山, 2012 年 9 月 14-16 日, Journal Of Oral Biosciences 54 (Suppl.) :113, 2012.
 - 36) 塚野英樹, 林 宏和, 谷口裕重, 真柄 仁, 井上 誠: 咽頭電気刺激が嚥下誘発に与える効果の検証, 第 17 回・18 回共催日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 札幌, 2012 年 8 月 31 日-9 月 1 日.
 - 37) 中村由紀, 畠山 文, 井上 誠, 矢作理花: 筋電図および咽頭への微量液体注入を用いた随意性嚥下誘発能の評価, 第 17 回・第 18 回共催日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 札幌, 2012 年 8 月 31 日-9 月 1 日.
 - 38) 住谷美幸, 濱松亜由美, 神田知佳, 林 宏和, 塚野英樹, 福原孝子, 矢作理花, 井上 誠: 舌骨・喉頭下垂が嚥下動態に与える影響, 第 17 回・18 回共催日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 札幌, 2012 年 8 月 31 日-9 月 1 日.
 - 39) 山本真也, 辻村恭憲, 谷口裕重, 林 宏和, 堀 一浩, 中村由紀, 佐藤英明, 井上 誠: 錠剤の提供条件は嚥下動態にどのような影響をもたらすか, 第 17 回・18 回共催日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 札幌, 2012 年 8 月 31 日-9 月 1 日.
 - 40) 岸本奈月, 畠山 文, 住谷美幸, 濱松亜由美, 梶井友佳, 伊藤加代子, 別府 茂, 秋元幸平, 田辺英児, 井上 誠: 病院に設置した介護食や介護用品の展示コーナーの活用とその反響, 第 17 回・18 回共催日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 札幌, 2012 年 8 月 31 日-9 月 1 日.
 - 41) 蝶名林文字, 小林富佐子, 井上 誠: 外来において嚥下障害患者へ実施したマッサージ効果の検証, 第 17・18 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 札幌, 2012 年 8 月 30 日-9 月 1 日.
 - 42) 藤村 忍, 佐野優子, 堀 彩子, 金 娟廷, 井上 誠, 久保田真敏, 西海理之, 門脇基二: トロミ調整剤添加による味とテクスチャー特性への影響-分析型官能評価と味認識装置による評価-. 第 17・18 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 札幌, 2012 年 8 月 30 日-9 月 1 日.
 - 43) 皆木祥伴, 李 強, 堀 一浩, 小野高裕, 近藤重悟, 藤原茂弘, 田峰謙一, 林 宏和, 井上 誠, 前田芳信: 屈曲センサを用いた喉頭運動記録法の開発, 第 17・18 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 札幌, 2012 年 8 月 30 日-9 月 1 日.
 - 44) 横山須美子, 小野高裕, 田峰謙一, 藤原茂弘, 前田芳信, 堀 一浩, 石原清香, 船見孝博: ゼリー状食品の力学特性と摂食様式が舌圧に及ぼす影響, 第 17・18 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 札幌, 2012 年 8 月 30 日-9 月 1 日.
 - 45) 藤原茂弘, 宮本純子, 倉智雅子, 小野高裕, 皆木祥伴, 田峰謙一, 近藤重悟, 堀 一浩, 井上 誠, 前田芳信: 高齢者における前舌保持嚥下時の硬口蓋部舌圧発現様相, 第 17・18 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 札幌, 2012 年 8 月 30 日-9 月 1 日.
 - 46) 林 宏和, 堀 一浩, 谷口裕重, 井上 誠, 小野高裕: ゲル試料の押しつぶし摂取時嚥下動態-舌圧と嚥下内視鏡の同時測定, 日本老年歯科医学会第 23 回学術大会, 筑波, 2012 年 6 月 22-23 日, 老年歯科医学, 27 (2) :132, 2012.
 - 47) 伊藤加代子, 濃野 要, 船山さおり, 山田亜紀, 井上 誠: 口腔乾燥症診断シートを用いた口腔乾燥症の診断, 日本老年歯科医学会第 23 回学術大会, 筑波, 2012 年 6 月 22-23 日, 老年歯科医学 27 (2) :206-207, 2012.
 - 48) 伊谷康弘, 小野高裕, 城下尚子, 阪上 穰, 山本雅章, 田峰謙一, 近藤重悟, 近藤 里, 加登 聡, 横山須美子, 深津雄己, 來田百代, 高阪貴之, 藤尾隆史, 皆木祥伴, 菊井美希, 徳田佳嗣, 堀 一浩, 前田芳信: 口腔腫瘍患者の手術前後における QOL の

- 変化. 第29回日本顎顔面補綴学会学術大会, 名古屋, 2012年6月15日, 顎顔面補綴, 35(2):118, 2012.
- 49) 阪上 穰, 山本雅章, 小野高裕, 堀 一浩, 古郷幹彦, 前田芳信: 下顎骨区域切除後の再建金属プレート露出に対し顔面補綴を行った症例. 第29回日本顎顔面補綴学会学術大会, 名古屋, 2012年6月15日, 顎顔面補綴, 35(2):122, 2012.
- 50) 堀 一浩, 谷口裕重, 井上 誠: 補綴装置を用いた摂食・嚥下リハビリテーションが奏功した重症筋無力症症例. 第29回日本顎顔面補綴学会学術大会, 名古屋, 2012年6月15日, 顎顔面補綴, 35(2):120, 2012.
- 51) 李 强, 皆木祥伴, 堀 一浩, 小野高裕, 近藤重悟, 藤原茂弘, 田峰謙一, 林 宏和, 井上 誠, 前田芳信: 屈曲センサを用いた喉頭運動記録法の開発. 日本顎口腔機能学会第48回学術大会, 松本, 2012年4月21-22日.
- 52) 山田亜紀, 辻村恭憲, 梶井友佳, 福原孝子, 井上 誠: 自由行動下ウサギにおける開口反射の変調. 第45回新潟歯学会, 新潟, 2012年4月21日, 新潟歯学会誌 42(1):60頁, 2012.
- 53) 山本真也, 谷口裕重, 井上 誠: 錠剤の提供条件が嚥下動態に与える影響. 第45回新潟歯学会総会, 新潟, 2012年4月21日, 新潟歯学会誌 42(1):60頁, 2012.
- 4) 伊藤加代子: 口腔乾燥症への新しいアプローチの試み～診断シートと手帳の導入～. 新潟ドライマウス研究会, 新潟, 2013年2月21日.
- 5) 井上 誠: 嚥下障害の臨床に手を出す前に～咀嚼と嚥下の分かっているようで分からない関係～. 飯田市歯科医師会臨床研究懇談会, 飯田, 2013年2月2日.
- 6) 井上 誠: ヒト嚥下を制御する末梢刺激について. 九州大学セミナー, 九州大学, 2013年1月30日.
- 7) 伊藤加代子: 口腔乾燥症の診断と治療. シェーグレン症候群仙台ドライマウスフォーラム, 仙台, 2013年1月26日.
- 8) 井上 誠: 新潟大学発信の摂食・嚥下リハビリテーション-臨床・教育・研究から地域連携まで-. 平成24年度総合地域医療研修センター事業「摂食・嚥下リハビリテーション専門研修会」, 東北大学, 2013年1月22日.
- 9) 井上 誠: 食べることができなくなったとき～これだけは知っておきたい知識と支援～. 第22回ライオンNew Yearセミナー, 東京, 2013年1月20日.
- 10) 井上 誠: 摂食・嚥下リハビリテーションの基礎, スクリーニング検査に求められるもの. 平成24年度歯の健康力推進歯科医師等養成講習会, 新潟, 2012年11月11日.
- 11) 井上 誠: 新潟大学における摂食・嚥下リハビリテーションの実践と未来展望. 長岡赤十字病院栄養サポートチーム講演会, 長岡, 2012年11月8日.
- 12) 井上 誠: 摂食嚥下について. 新潟県栄養士会生涯学習研修会, 新潟, 2012年11月4日.
- 13) 井上 誠: 新潟大学における摂食・嚥下障害への対応と呼吸リハビリテーションとの関連. 第7回呼吸リハビリテーションサイエンスフォーラム, 新潟, 2012年10月27日.
- 14) 井上 誠: 超高齢社会と嚥下障害について考えましょう. 関東信越税理士会新潟支部会議例会時研修会, 新潟, 2012年10月5日.
- 15) 井上 誠: 摂食・嚥下機能の基礎知識. 平成24年度愛知県歯科衛生士会研修会, 名古屋, 2012年7月25日.
- 16) 辻村恭憲, 辻 光順, 岩田幸一, 井上 誠: ラット上喉頭神経誘発嚥下に対する皮質咀嚼野刺激の変調効果. 第6回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会, 日本大学歯学部, 東京, 2012年7月7日.
- 17) 皆木祥伴, 李 强, 堀 一浩, 小野高裕, 近藤重悟, 藤原茂弘, 田峰謙一, 林 宏和, 井上 誠, 前田芳信: 屈曲センサを用いた喉頭運動記録法の開発. 第24回日本嚥下障害臨床研究会, 高知, 2012年7月7日

【研究会発表】

- 1) Tsuji K, Tsujimura T, Inoue M: Superior laryngeal nerve evoked swallow and its time dependent modulation. International Symposium on Human Resource Development towards Global Initiative, Cha-am, 2013.2.16-17.
- 2) Sakai S, Tsuji K, Tsujimura T, Yamada A, Inoue M: Relationship Between the Inhibition of the Jaw-Opening Reflex and the Autonomic Responses During the Superior Laryngeal Nerve Stimulation in Rabbits. International Symposium on Human Resource Development towards Global Initiative, Cha-am, 2013.2.16-17.
- 3) Natsuki Kishimoto, Roxana Stegaroiu, Hiroyuki Uematsu, Satoko Shibata, Kayoko Ito, Makoto Inoue, Akitsugu Ohuchi: Effect of Oral Ingestion on the Oral Cavity Moisture and the Amount of Microorganisms in Saliva and Tongue Coating. International Symposium on Human Resource Development towards Global Initiative, Cha-am, 2013.2.16-17.

- 18) 井上 誠：「食べる・飲む」はどこまで分かっているのか。FOOMA2012 アカデミックプラザ。東京、2012年6月6日。

【受賞】

- 1) 林 宏和, 堀 一浩, 谷口裕重, 井上 誠, 小野高裕: ゲル試料の押しつぶし摂取時嚥下動態-舌圧と嚥下内視鏡の同時測定. 平成24年度優秀口演賞, 第23回日本老年歯科医学会, 2012年6月22-23日.
- 2) 島田久寛, 井上 誠: 随意嚥下閾値に関わる食塊の物性. 平成24年度日本摂食・嚥下リハビリテーション学会論文賞.
- 3) 覚嶋慶子, 林 豊彦, 道見 登, 谷口裕重, 井上 誠: 錠剤形状の違いが嚥下動態に与える影響. 第32回日本生体医工学学会甲信越支部大会, 優秀賞, 2012年9月21日.

【その他】

- 1) Inoue M: Dysphagia Rehabilitation in Niigata University. Thamassat University, Thailand, 2012.5.16.
- 2) 伊藤加代子: 口腔機能向上トレーニング方法. 新潟県歯科保健協会研修会, 新潟市, 2013年3月4日
- 3) 谷口裕重: 有病者の歯科治療と摂食・嚥下リハビリテーション. 平成24年度新潟大学歯学部同窓会・セミナーⅢ, 新潟大学歯学部, 新潟市, 2013年2月3日
- 4) 伊藤加代子: 高齢期の口・歯の健康を学ぼう, 口腔に関する講演会, 新潟県関川村, 2013年1月24日
- 5) 伊藤加代子: 介護予防～アセスメントからプランニングまで～, 介護予防従事者研修会, 新潟, 2012年12月7日, 長岡市, 2012年12月18日.
- 6) 伊藤加代子: 高齢者の身体的特徴と疾患, 介護について, 歯の健康力推進歯科医師等養成講習会, 新潟県歯科医師会, 新潟, 2012年12月1日.
- 7) 谷口裕重: 食事介助時の注意点. 平成24年度歯の健康力推進歯科医師等養成講習会, 新潟県歯科医師会館, 新潟市, 2012年11月11日
- 8) 井上 誠: 食べるを知るために必要な知識と支援技術. 東新潟特別支援学校夏季職員研修, 新潟, 2012年8月22日.
- 9) 中村由紀: 新潟市主催 障害者の摂食・嚥下支援研修会. 長岡市寺泊文化センター, 長岡市, 2012年7月31日.
- 10) 辻村恭憲: 口腔ケアの重要性・必要性 高齢者の口腔ケアの方法. 山王苑にいがた, 新潟, 2012年7月20日.

- 11) 伊藤加代子: 新潟大学歯学部公開講座: 介護予防のための口腔機能の向上入門講座, 新潟, 2012年7月17日.
- 12) 辻村恭憲: 摂食・嚥下機能療法の基本技術. 新潟県歯科医師会館, 新潟, 2012年7月9日.
- 13) 辻村恭憲: 摂食・嚥下の実際. 新潟県歯科医師会館, 新潟, 2012年7月1日.
- 14) 井上 誠: おいしく安全な食生活のために-これからの超高齢社会に向けて-. FOOMA2012, アカデミックプラザ, 東京, 2012年6月5-8日.
- 15) 伊藤加代子: ドライマウス手帳, 日本歯科新聞, 2012年5月29日.
- 16) 伊藤加代子: ツールを用いたドライマウスの診断と治療連携, 第66回日本口腔科学会学術集会ランチョンセミナー, 広島市, 2012年5月17日.
- 17) 井上 誠: 摂食・嚥下リハビリテーションはどこに向かうのか. 新潟大学歯学部同窓会石川県支部, 2012年4月14日.
- 18) 林 宏和: 健常者における押しつぶしと嚥下の生体力学的評価. 学位研究紹介, 新潟歯学会誌, 42(2):55-56, 2012.

歯科麻酔学分野

【著書】

- 1) 瀬尾憲司. 追悼 Prof John Yagiela, 日本歯科麻酔学会雑誌, ニュースレター, 2013, 41巻第1号, p139.

【論文】

- 1) Kenji Seo, Yuji Inada, Makoto Terumitsu, Tatsuo Nakamura, Keiji Shigeno, Yutaka Tanaka, Tatsuru Tsurumaki, Shigenobu Kurata, Hitoshi Matsuzawa. Protracted delay in taste sensation recovery after surgical lingual nerve repair: a case report, Journal of Medical case reports, 2013, 7,77.
- 2) Zakir HM, Mostafeezur RM, Suzuki A, Hitomi S, Suzuki I, Maeda T, Seo K, Yamada Y, Yamamura K, Lev S, Binstok AM, Iwata K, Kitagawa J. Expression of TRPV1 channels after nerve injury provides an essential delivery tool for neuropathic pain attenuation, Plos One, 2012 Sep; 7 (9) :e44023
- 3) Kodama Y, Seo K, Hayashi T, Kobayashi T, Niwano M, Koyama T, Murayama M, Takagi R. Orofacial pain related to traumatic neuroma in a patient with multiple TMJ operations. Cranio. 2012 Jul;30 (3) :183-7.
- 4) Kenji Seo, Makoto Terumistu, Yutaka Tanaka,